



松浦市長

のスマイルボタン

4月1日。今年度初日。市役所部課長への訓示として「令和8年度は編成の当初から私が関わった、初めての当初予算で取組を成していく年。今日は、『シン・マツカヨ市政』の幕開けです」と宣言しました。

湖南省の明るい未来につながる施策などは、「これは、この部(課)の担当。うちは知らん」といういわゆる縦割りによる取組姿勢では、進捗のスピードは上がりません。部局連携により、市役所の総合力を発揮して取り組まなければなりません。

特に東庁舎・西庁舎周辺整備事業や地域移動支援といった事業には、多面的な視点から、さまざまな取組を組み合わせ、市を挙げて取り組む必要があります。そのため組織改編として、部局を超越して効果的・効率的に推進し統括する「市長特命プロジェクト推進室」「地域

移動支援統括室」を設置しました。

各部局それぞれが各事業について担っている責任は、これまでと同様、いや、むしろ、より精度を上げて力を注いでいきます。そのうえで、各部局の事業の、のりしろをつなぎ推進するイメージです。

例えば、東庁舎周辺整備事業。新庁舎・森北公園・甲西文化ホール・甲西図書館。新築・改修は担当部が推進します。全体像や、それぞれをつなぐ利活用の仕方を描き、つなぐのが新室です。

新室は、私が以前、4年間室長を務めていました発達支援室(湖南省発達支援システムを統括)経験から思い描きました。支援を必要とする人を円の真ん中に、関係部局・関係機関等の連携によってその人を支える仕組みです。

『シン・マツカヨ市政』乞うご期待!